

2015/16 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



世界へのプレゼントになろう

第 2531 回例会 2016 年 1 月 27 日 (水) SAA (司会) / 山本会員 会報担当 / 上野会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F 例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング それでこそロータリー
- お客様 ございませんでした
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正



先週の例会は前橋ロータリークラブの本田パストガバナーと板垣様をお迎えしての「元気なクラブづくり」の卓話と炉辺会談が行われました。とても有意義な時間だったと思います。炉辺会談の中で板垣さんが話していたことがとても印象に残りました。私が例会に行くのは「あのの人に会いたいから、行けばあの人に会えるから」そうすれば「何かあの人が学べるから」だから例会に行くのだよ会長、あなたの今年度の標語そのものなのだよと。言われました。会員一人ひとりがあの人に会いに、そしてあの人になれるようになればクラブは元気が出てくるのだよ。だから前橋 RC は全員がジェントルマンを目指して行動しているのだよとおっしゃっていました。なるほどジェントルマンね!当クラブもロータリアン=ジェントルマン目指して一人ひとりが頑張りましょう。

さて今日のメインプログラムは先日 PJRC の 55 周年記念式典に出席してきた上條会員の、グローバル補助金申請の現地の報告会です。55 周年記念式典と一緒に現地視察の件、楽しみにしていた報告をよろしくお願いたします。

また、今夜長期計画委員会が開催されます。皆さんからのアンケート調査を基に色々分析調査等を行い、明日の我がクラブの指針を決めて行こうという委員会です。すこしずつですがクラブも前進して行こうとしています。会員の皆さんのご協力とご理解をさらに頂いて「元気なクラブづくり」を目指していきましょう。

◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

先週の土曜日ですが、木更津 RC の会員でもあり、木更津市名誉市民でもあります、当クラブのインターアクトクラブの市原中央高校の学校法人 君津学園前理事長、故 真田益夫氏の「お別れの会」に参加してまいりました。ご冥福をお祈りいたします。

本日のメインプログラム

「ペタリングジャヤRCを訪問して」

上條会員・長田会員・小泉会員



1 月 7 日～ 11 日の間、ペタリングジャヤ RC の 55 周年記念式典に、長田、小泉、上條の 3 名が公式訪問して参りました。万崎会長より託されたミッションは、「一層の国際理解を深める」ことであり、その任務を十分に果たせたと自負しております。

長田会員は PJRC のゴルフ No.1 である Tan Poh Eng と大会ゴルフで同組となり、同スコアで引き分け。次回は日本での再度のプレーを約束しておりました。小泉会員は市原 RC にこのような若手会員が在席することに注目されていました。RCPJ の多くの会員とその家族を初め、参加した姉妹クラブの皆さんと 5 日間に渡り、友好を深めることができました。

姉妹クラブ歓迎晩餐会と 55 周年金式典で感じたこと

1/18 (金) の歓迎晩餐会は姉妹クラブ 7ヶ国・8クラブ 150 名を含めて 200 名超の参加者で、1/10 (日) の 55 周年記念式典は 680 名の大パーティーでした。これだけの式典を企画実行する RCPJ が、大きくパワーアップしているのを感じます。それを PJ のメンバーに尋ね





ましたところ、8年前よりCLP活動を取り入れ、それ以前と比べると各メンバーが2倍以上の奉仕活動を積極的に進めるようになった、と言います。

例えば、入会5年の会員 Victor が理事、大会委員、幹事として中核的な存在になっています。

式典には会員、伴侶、子供、孫まで全ファミリーで参加しています。今年会長 Rianne Chin を初め、来年・再来年と3年間、女性会長が続きます。現女性会員は10名です。



元首相マハティール氏の娘さんが入会予定です。パスト会長達が若い大会組織委員の下で活発に活動しています。

RCPJ は会員数は46名ですが、6インターアクトクラブと1ローターアクトクラブをホストしており、青少年育成奉仕活動を筆頭とする多くの社会奉仕活動・国際奉仕活動を進めています。姉妹クラブとして誇り高く思います。

マレーシアアボリジニへの人道支援について

1/11 (月) に上條会員がクアラルンプールの東南180Kmにある Termerloh の奥地 Paya Menguang Orang Aslie 村を訪問。マレーシアアボリジニの生活現状を視察してきました。同地は5～60年前の日本の寒村地を見るようでした。けっして貧困に喘いでいるとか、隔離された生活をしているとか、ということはありません。原住民の子供達はのどかな自然に溢れた環境で、のびのびと生活しています。しかし、マレー語のみで、英語はほとんど通じません。一番の問題は親が子供達を学校へ行かせたがらない点です。自給する分の野菜を庭で栽培し、近くの川で魚を釣り、ヤシ園やゴム園でパートタイマーとして僅かな収入を得れば、生活が出来るので



す。それに小学校の分校として、幾つかのアボリジニ教育の施設は

ありますが、この村は広大な面積で、分校まで5～10Kmを歩いて登校せねばなりません。ランドセルや靴、教材の類も不足しています。小学校では200人の学生に朝食を無償提供し、登校を勧めていますが、出席率はかなり低いようです。

RCPJ が主催国クラブとなり、市原 RC が援助国クラブ、RC Termerloh が現地のフォローを行う援助クラブとしての Global Grant Foundation (GGF) の提案を RCPJ から受けていますが、この提案を受諾するかどうか検討せねばなりません。RCPJ は11月に RI に GGF の申請を出しましたが、申請書の修正を要求されており、PJ は更に数箇所の姉妹クラブに働きかけて、賛同を得た後に再度 RI へ申請する予定です。RI の承認は2月末ごろになると思われます。



視察した上條の個人的見解は、この GGF に積極的に参加すべきと考えます。その理由は、

- *マレーシア国内での所得格差は日本の数倍で、低所得者を救済することは人道的支援に寄与する。
- *支援クラブの RC of Termerloh はパスト会長 Hiang を先頭に、この奉仕活動に大変熱心であり、支援後のフォロー政策に問題は無い。
- *RI が厳しく審査する GGF であるから、国際奉仕活動として充分に価値ある人道支援である。

市原 RC として、前向きに検討下さることを撰に望みます。



上條会員

真板校長のお別れの会に出席しました。引き出物ももらいましたのでその分をニコニコへ

万崎会長・平野幹事

上條さん、PJ報告ありがとうございました。

■出席報告 前々回確定66.67% 本日出席 29名

欠席13名 本日出席率 76.31%

■点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正